

2019年7月

第35回 ふれあい広場

テーマ

～であい ふれあい
ともにいきるまち～



ふれあい広場に向けて、
ただいま準備中(^^)/

【ポスター原画】
中沢小 安藤 咲葵さん



【パンフレット原画】
西駒郷 大川 智子さん

9月1日
皆さんで
来て下さいね♪



～広報宣伝部会～

日時

9月1日(日)

9:20～ オープニングセレモニー
10:00～ テント開店

場所

駒ヶ根市文化センターと
その周辺

今号の話題

- ✿ 平成30年度決算の概要
- ✿ 善意銀行報告
- ✿ かたつむりの会運転講習会
- ✿ 福祉を考える企業の会～総会と講演会の夕べ～
- ✿ 中沢支え合い交流会
- ✿ 竜東やまびこ園花壇
- ✿ 地域支えあいサポーター養成講座
- ✿ なんでも伝言板

発行者

駒ヶ根市社会福祉協議会 (ふれあいセンター)

駒ヶ根市梨の木2-25

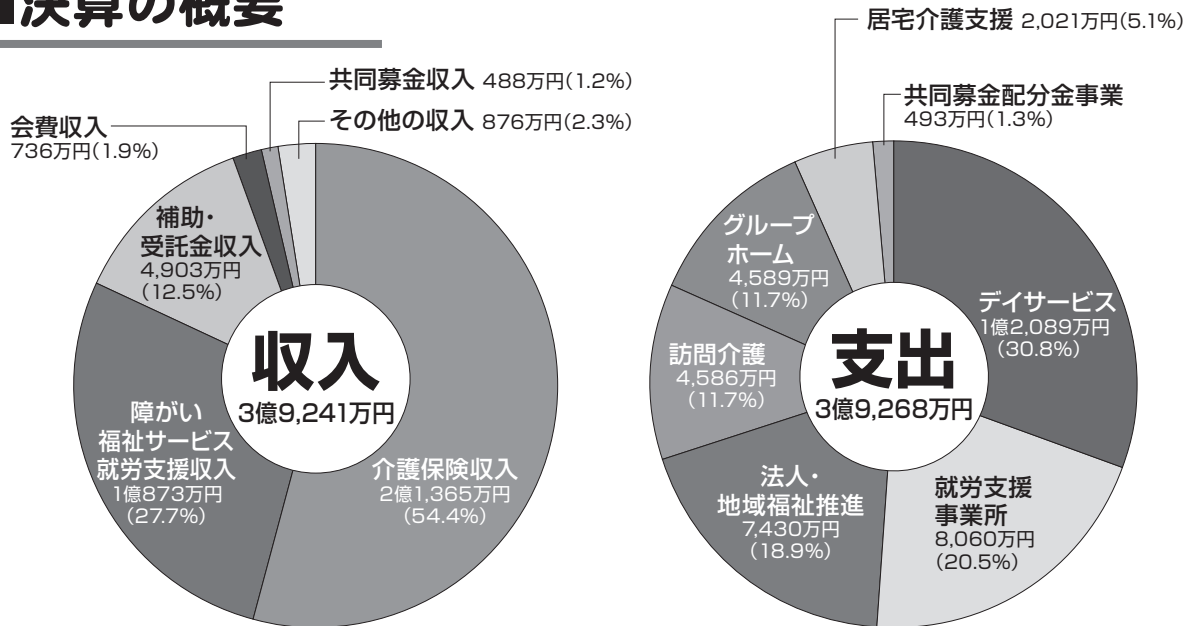
<http://www.kmshakyo.org/>

TEL.0265-81-5900 FAX.0265-81-5745



平成30年度 市社協の決算と事業

■決算の概要



■事業の概要

平成30年度事業は「支え合いの中で 安心と生きる喜びをもって 笑顔あふれる地域社会を」を基本方針に、高齢者や障がい者、生活困窮者など、多様なニーズに対応して実施しました。また、地域で支え合える地域社会の実現に向け、地域支え合いサポーター養成講座を開催し地域福祉推進事業に取り組みました。さらに、受託事業、介護保険事業、障害者自立支援事業の各分野において、サービスの充実と健全経営に努め事業を実施しました。

1. 地域福祉推進事業

増え続ける一人暮らし高齢者や認知症の方を地域で支え、見守るための事業を住民の皆様と協力して展開しました。また、ふれあいいきいきサロン、ふれあい花壇づくり支援では、地区社協と協力して住民のつながりづくりを推進しました。更に生活支援事業として、こまちゃん宅福便、福祉有償運送事業等では、住民の個別の課題に対応する支援を行いました。

相談事業では、心配ごと相談（民生児童委員）、ふれあいよろず相談（社協）、弁護士、司法書士などの無料相談により、多くの相談に対応しました。

福祉活動の啓発として、第34回ふれあい広場は参加100団体、来場者数3,000余名と盛会に開催されました。また、第55回社会福祉大会では、式典、地域の発表のほか記念講演では「さらなる一歩を踏み出そう！」と題して、立木早絵氏による講演をお聞きました。また、福祉教育では、市内小中学校ごとの目標や地域の実情に合わせた取り組みを支援しました。

2. 介護保険事業

利用者状況の対前年比は、訪問介護81.1%、大原こだま園97.1%、やまびこ園93.0%、居宅介護支援事業所は68.2%となりました。

各事業所においては、介護予防・日常生活支援総合事業に対応し、要支援相当の利用者の受入を実施してきました。

また、大原こだま園においては地域密着型の通所事業所として利用者の確保に努めながら、重度障がい者の入浴事業等にも取り組みました。グループホームほほえみの家は、空室時期を短くし常時定員確保に努めました。

3. 障害者自立支援事業

就労支援センター伊南桜木園は、事業所が中沢地区に移転したことにより、利用者に不安がないように支援しながら、受託事業を中心にまた、自主製品の製造販売を実施しました。施設外就労については、引き続き市内企業KTK（株）や、ネクスコ日本のゴミの分別作業、市田柿の収穫作業等工賃アップに繋げ工賃1人当たり月額支給額20,558円を確保しました。

障がい者自立支援センターたんぼの家は、こころの医療センターでの喫茶営業、自主製品の販売、カレーの販売を実施、受託事業として、千代田縫製の糸切、広告の配布、KTK（株）、トーハツマリーン（株）より製品を受託し工賃1人当たり月額支給12,665円の確保と仕事づくりに努力しました。指定特定相談支援事業は、地域において自立した日常生活、社会生活が出来るよう利用者の立場に立った相談計画を行いました。

障がい者の訪問介護においては、利用率の増える中、利用者の状態に応じた支援を行い、またグループホームいなほは、地域の皆様のご協力をいただきながら満室の状況で運営が行われました。

社協理事会・評議員会の報告

令和元年6月25日
理事会・評議員会開催

◎可決された主な議案

- 令和元年第1回評議員会（令和元年6月25日開催）
 - ・理事及び監事の選任について
 - ・平成30年度事業報告・決算報告・監査報告他
- 令和元年第3回理事会（令和元年6月25日開催）
 - ・任期満了に伴う会長の選任について
 - ・任期満了に伴う副会長・常務理事について他

◎人事

任期満了による役職が下記のように決定致しました。【任期：令和元年6月25日から令和3年評議員会終了まで】

《理事の選任》

有 賀 秀 樹 氏 会 長
山 浦 泰 子 氏 副会長
市民生児童委員協議会長
中 村 竜 一 氏 市民生部長
松 井 浩 二 氏 常務理事・市社協事務局長
清 水 亀千代 氏 市区長会長
下 島 公 平 氏 市教育委員会教育長職務代理者
梶 田 ひと美 氏 市ボランティア連絡協議会長
塩 澤 総 夫 氏 西駒郷所長

《監事の選任》

菅 沼 孝 夫 氏 元市議会議員
小松原 豊 氏 元市会計管理者

《評議員の選任》

竹 村 守 氏 市区長会副会長
氣賀澤 葉 子 氏 市議会教育民生建設委員長

会長就任のご挨拶

有 賀 秀 樹



8年程前から、生きにくさを抱えた青年・成人の方々の支援をしてきたご縁で、社協から沢山の連携とご支援をいただけてきました。この活動を通して、ネットワークの大切さを痛感しています。この度、過分な

職にご推挙頂きましたが、少子高齢化等々がますます進み、より厳しい状況となることでしょう。共生社会・福祉の街づくりを目指して、皆様の力と知恵を結集して、課題に向き合っていきたいと思ひます。どうぞ宜しくお願いします。

退任のご挨拶

宮 澤 清 高



日頃、皆様方には市社協事業に深いご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて平成21年12月に就任以来、足掛け10年に亘り皆様のご協力のもと、会長を務めさせていただきましたが、令和元年6月25日任期満了となり会長を退任致しました。

この間、熱心にボランティア活動をされる多くの皆様との出会いと、その取り組む姿勢から、沢山の事を学ばせていただきました。

地域福祉課題は時代と共に変化し、市社協の担う役割も少しずつ変わって来ておりますが、「住み慣れた地域で、誰もが暮らしやすい地域を目指す」事に変わりありません。

有賀新会長を先頭に、自助・共助の精神で互いに支え合い、孤立者を出さない地域づくりで、更なる福祉の輪が広がります様ご祈念申し上げ、会長退任のご挨拶と致します。

10年間、大変ありがとうございました。



善意銀行報告

あたたかな真心、ありがとうございました。

(2019年4月1日～7月7日)

氏 名 等	金額(円)・物品
石田建設	50,000円
野溝美和子 様 (やまびこ園へ)	10,000円
駒ヶ根市高齢者クラブ連合会	60,000円
赤須弘侑 様	50,000円
上伊那建設労連赤穂分会	3,300円
車いすの会 (高砂園へ)	50,000円
匿 名	53,000円
スポーツ協会ゲートボール部	30,000円
駒ヶ根マレットゴルフ同好会	50,000円
駒ヶ根市ライオンズクラブ	食 料 品

- ・東日本大震災では宮城県女川町支援を指揮。
平成26年11月、女川町社協と友好都市社協協定締結に尽力
- ・平成29年11月、静岡県磐田市と友好都市社協協定締結に尽力

令和元年度 福祉を考える企業の会「総会と講演会の夕べ」開催

6月13日夜、「総会と講演会の夕べ」が赤穂公民館で開催されました。

総会は平成30年度決算、監査報告並びに令和元年度予算案、事業計画案の審議がなされ、全会一致で了承されました。増澤良雄会長から、当会が地域福祉に貢献してきた歴史を振り返り、今後も益々会員を募り、地域貢献できる会として継続していきたいと挨拶がありました。

講演会は「イグ・ノーベル賞と大腸癌」と題して、昭和伊南総合病院消化器病センター長、内科診療部長の堀内 朗先生をお招きしました。イグ・ノーベル賞は「ユニークな発明」に授与される国際的な賞です。堀



内先生は、座った姿勢での大腸内視鏡検査を自らの体を使って研究しました。また、痛みや苦痛がない麻酔を用い、検査終了後一定時間休息をとれば、車で帰ることができる診療体制を作られました。

更に、予約がなく当日訪院されても検査を可能にするなど、内視鏡検査のハードルを下げることにより、多くの地域住民に安心が得られることを目標としています。

講演は、福祉を考える企業の会会員と一般の来場があり、100名が聴講し、熱心に聴き入りました。



令和元年度 ボランティア運転講習会 開催

6月18日夜、かたつむりの会（福祉有償運送ボランティア）主催による「ボランティア運転講習会」がふれあいセンターで開催されました。

この講習会は、本会主催により毎年開催しており、ボランティア団体やサロン関係者、社協職員等50名の参加がありました。

今回は駒ヶ根警察署交通課から北原経夫課長をお招きしました。県下や管内における事故の状況や推移、事故の発生が高い年代や場所、時間帯など、統計数値を交えてお話がありました。また、高齢者の事故の特徴や免許証の返納に関わる課題など、昨今報道が絶えない悲惨な事故の防止策についてアドバイスをいただきました。

かたつむりの会、中村喜信会長から運転は過信が一番いけない。これからも定期的に講習会を設け、安全運転に心がけていきたいと結びの言葉がありました。





なんでも伝言板

申し込み・お問い合わせは社協へ
TEL 81-5900

令和2年度 社会福祉法人 駒ヶ根市社会福祉協議会 正規職員募集

資格要件 介護福祉士 社会福祉士 看護師 作業療法士 介護支援専門員等福祉関係の国家資格所有者
○新卒者等：資格取得者または見込みの者
○社会人：資格取得者

募集人数 若干名

一次試験 令和元年8月22日(木)までに、履歴書、資格要件証明書の写し、作文を駒ヶ根市社会福祉協議会まで提出

◇作文テーマ

「地域福祉の推進」「住民主体の地域づくり」

上記2題から一つ選び800字以内(自筆作成のこと)

二次試験日 令和元年9月8日(日)
午前10時より面接試験

合否決定通知 一次試験結果 8月30日(金) 発送予定
二次試験結果 9月19日(木) 発送予定

採用時期 令和2年4月1日

勤務職場 本会運営の市内福祉施設
介護保険事業所・障がい者支援事業所

◇ホームページに掲載してあります。

お問合せ

駒ヶ根市梨の木2-25 ふれあいセンター内
社会福祉法人 駒ヶ根市社会福祉協議会

総務課(松井・下澤)

TEL 0265-81-5900 FAX 0265-81-5745

ホームページ：http://www.kmshakyo.org/

ホームヘルパー(登録)募集しています

ホームヘルパーの仕事をしてみませんか？

介護職員初任者研修終了者(旧ヘルパー2級)・介護福祉士等の資格をお持ちの方で社協のヘルパーステーションにお勤めいただける方を募集しています。

子育て中で少しだけ働きたい方、生きがいづくり・社会参加したい方、大歓迎！

終日勤務できる方はもちろんですが、時間でお勤めできる方(特に夕方お勤めできる方)も歓迎します。空いた時間に無理なく働きますか？

詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

ご連絡をお待ちしております。

お問合せ

駒ヶ根市社会福祉協議会
0265-98-0873

訪問介護ふれあい
担当：岩崎・斉藤

点字講習会

目の不自由な人の生活に欠かせない文字である「点字」を初歩から学んでみませんか。

期 日 9月14日、21日、28日
10月12日、19日、26日

時 間 午後1時30分～3時30分

場 所 障がい者センター高砂園(会議室)

内 容 ①点字の初歩から点字板による点訳
②パソコン点訳
※点訳とは、文字を点字に訳すること

持ち物 筆記用具

申込・お問合せ 市社会福祉協議会地域福祉振興係
TEL81-5900

ボランティアさん大募集!!

長野県西駒郷では、障がいのある方のお手伝いをしてくださるボランティアさんを募集しています。

- ・施設内で行う行事のお手伝いをしてくださる方
- ・手芸のできる方
- ・作業やスポーツを一緒に行ってくださる方
- ・演奏会など発表をしてくださる方…… など

お問合せ 西駒郷ボランティア事務局
0265-81-6514 担当 小坂

「ふれあい広場バザー」 物品寄付のお願い

毎年、多くの方のご協力ありがとうございます。ご家庭でご不用の贈答品、日用品、ぬいぐるみなどを集めています。(※新品に限ります。)

衣類は集めていません。



届け先 駒ヶ根市社協、中沢支所、東伊那支所

締め切り 8月23日(金)

大原こだま園からのお知らせ

デイサービスセンター大原こだま園では、白い新しいフェイスタオルを使って、ご利用様が台拭き等を縫ってくださっていますが、白いフェイスタオルが不足してしまいました。

ご自宅に使用されないフェイスタオルがございましたら1枚でも構いませんのでご寄付をお願いいたします。

お問合せ デイサービスセンター大原こだま園
電話 83-6986 担当 林・原

●●● 中沢支え合い交流会 ●●●

6月20日(木)「中沢支え合い交流会」(NPO法人地域支え合いネット主催)が中沢公民館にて行われ、地域にお住まいの20名が参加されました。

この交流会は、地域の皆さんと中沢地区を拠点とする介護事業所やボランティア団体が参加しました。事業所や団体はそれぞれブースを設け、住民の皆さんとの情報交換や意見交換をしました。

グループワークでは、「中沢を知ろう」と題して、新たな発見や課題について意見が交わされました。「花桃や桜の名所があり、中沢には『中沢春めぐり』というパンフレットがある。駐車場やお茶処が充実すると賑わうのではないか。」「新宮川岸信号のあたりに道の駅ができれば活性化するのではないか」等、多くの思いが聴かれ、中沢地区の未来を考える交流会となりました。



参加団体：NPO法人地域支え合いネット、おれんじネットフレンズ、ほのほの花桃、ふれ愛なかつぱ市、大曾倉ふれんど亀群、地域包括支援センター、駒ヶ根市社会福祉協議会・竜東やまびこ園・伊南桜木園

やまびこ園花壇

「6月2日(日)に本曾倉自治会の地域住民の皆さんと青年海外協力隊員、やまびこ園職員約70人が参加し、恒例のふれあい花壇整備を行いました。

やまびこ園東と西の2か所の花壇に様々な花の苗450株を手分けし定植し、作業後は園にてお茶菓子を囲んで交流を深めました。

小さな子供さんから高齢の方まで、多くの皆さんにご参加いただきありがとうございました。



第4回

地域支えあい サポーター養成講座

開催



第4回地域支えあいサポーター養成講座が7月6日、7日に開催されました。この講座は、地域のサロン等の担い手として活躍していただくための、人材発掘や高齢者に関わる知識、レクリエーション技術を身につけることを目的としています。参

加者は39名でした。

本年は、参加者が4グループに分かれ大きな模造紙に絵を描いて、それぞれの思いを表現したり、「大切な人への手紙」をつくり発表するなど、心や思いの表現方法を楽しく学びました。この体験を地域での支え合いの一助として、今後のご活躍をご期待いたします。

